

GIKAI DAYORI



ぎかいだより

おおぞら

OZORA

<大空町10年記念 女性模擬議会 臨時号>

北海道大空町議会
平成28年(2016年)3月15日発行



大空町

検索

<http://www.town.ozora.hokkaido.jp>



町政を問う! <女性模擬議会>

(一般質問10人)

一般質問

- ☆宮下 久江 議員…………… P 4
 - 1. 農村部で冬期間実施している冬期保健講座を市街地でも実施してほしい
 - 2. ヘルスマイトの養成講座を実施してほしい
- ☆武内 純子 議員…………… P 4
 - 1. 産業振興支援策について
- ☆豊島 好美 議員…………… P 4
 - 1. 高齢者とその家族が安心して暮らせる町づくりについて
 - 2. 町主催で行う教育文化会館での催物について
- ☆豊島 佐智子 議員…………… P 5
 - 1. 町の道しるべ宣言並びに町歌の作成について
 - 2. 文化振興策について
- ☆大橋 直美 議員…………… P 5
 - 1. B & G海洋センターの駐車場整備について
 - 2. 子供の学力低下について
- ☆森賀 聖子 議員…………… P 6
 - 1. 特別養護老人ホームにおけるショートステイの利用状況について
- ☆秋岡 房子 議員…………… P 6
 - 1. 商工業の振興について
 - 2. 除雪について
- ☆原本 光枝 議員…………… P 6
 - 1. 高齢化社会への対応について
 - 2. 農村環境改善センターの設備の見直しについて
- ☆遠国 真理 議員…………… P 7
 - 1. 農家の人手不足について
- ☆中川 利佳子 議員…………… P 7
 - 1. 英語教育について
 - 2. 女満別高校の存続について
 - 3. 女満別中学校について

近藤議長あらい



この度、議会主催により女性の模擬議会を企画したところ、快く賛同いただき、13名の模擬議員の皆さんご出席をいただき、心からお礼を申し上げます。この模擬議会は、これまで政策決定の場に参画する機会が少なかった女性に対して、町政への参画機会を提供し、行政に対して関心と理解を深めてもらい、生活に密着した女性の視点から、まちづくりについて提案をいただくことを目的とするとともに、大空町10年記念事業の一環として開催するものです。議会活動は多岐にわたっておりませんが、その中でも一般質問は山下町長に質問をし、まちづくりの提案や住民の皆さんの声を届けることにより、施策を展開していただくという活動です。あるいは、町長から素晴らしい活力のある豊かなまちづくりをすすめるための政策を議案として議会に提案してまいります。議会はその提案が住民のためになる公正なものか、財政運営上支障がないか、または行政改革につながるものかをチェックして、少ない経費で大きな効果が出てくるものか、優先順位は妥当であるか、質疑をして町長に問いただします。そして議会の同意があれば町長はそれを進めることとなります。いわば町の意思を決定する最高機関が議会です。今日はこの議場において、皆さんの通告によると、どの質問も素晴らしい内容であります。気持ちを楽にして大きな声で元気に発言していただくと、町長からはいい答弁も頂けるのではないかと思います。開会にあたり、主催者としての挨拶とさせていただきます。

大空町10年記念として

『女性模擬議会』を開催しました!

行政に対して理解を深めてもらうとともに、まちづくりについて提案いただくことを目的とし、2月6日(土)に「女性模擬議会」を開催いたしました。13名の女性模擬議員さんに参加いただき、うち10名の議員さんが一般質問をされました。当日は29名の方が傍聴にいられ、盛会の中終えることができました。

議事日程

模擬議会主催者あいさつ

模擬議員、出席者紹介

日程第1
会議録署名議員の指名について

日程第2
模擬議会議事運営の報告について

日程第3
会期の決定について
(諸般の報告)

日程第4
一般質問

日程第5
発議第1号「男女共同参画社会の実現を目指す女性の社会参加推進の決議」



宮下 久枝

議員

問 冬期保健講座を市街地でも実施してはどうか

答 市街地区での開催を目指したい

宮下議員 冬期間、農村の自治会女性部を対象として冬期保健講座が開かれているが、食と健康のためになるので、市街地でも開かれることを要望したい。

山下町長 今後は、自治会との共催や、市街地区や全町的な組織の事業の一部として開催できないか協議を重ね、市街地区での開催を目指してまいりたい。

問 ヘルスメイトの養成講座を実施してほしい

答 平成29年度に養成講座の開設を考えている

宮下議員 ヘルスメイトは42名いるが、実際に活動してくれる人はまだ少ない。何年かに一度は養成講座を開いていただきたい。

山下町長 食生活改善推進委員の活動やフオローアップ研修などの参加をまず呼びかけ、知識を広げていざと同時に、興味を持ってもらう活動を平成28年度は行いたい。その方々を中心に、平成29年度に養成講座の開設に結び付けてまいりたい。ぜひ皆様方からも養成講座の受講に向けて、お声掛けいただくとお願いしたい。

武内 純子

議員

問 町の具体的な産業振興支援策は

答 起業化支援事業補助金などがあるが、今後さらに充実させていきたい

武内議員 働き口があるかどうかが移住の大きなポイントであり、産業支援こそが本来の移住促進につながるのではないかと。大空町の産業は農業がメインであり、農産品を生かした食品開発は今後ますます期待され成長していくと思う。具体的な町の支援メニューについてお答えいただきたい。

山下町長 具体的な支援策として、起業化支援事業補助金、元気づくり応援事業の中に地場産業振興事業がある。その他、6次産業化を推進するため特産品づくりセミナーを開催したところである。平成28年度からは、雇用者を確保するための賃金助成制度や資格を取得するための助成なども検討している。今後さらに内容について検討し充実させていきたい。課題として、地域のブランドという意味で、単独の市町村に限らず、広域で産品をアピールできるような仕組みが必要ではないかと考えている。

武内議員 元気づくり応援事業の事例などについて、積極的に情報発信していただきたい。また、試験製造施設や加工場は使えるのかどうか。

山下町長 道の駅メルヘンカルチャーセンターにある農産物、また畜産物の加工施設、さらに製造品提供加工施設などのブースがある。

豊島 好美

議員

問 医療、福祉、行政の連携が必要と考えるが

答 女満別中央病院において連携体制をつくりつつあるところである

豊島好美議員 高齢者の独居や二人暮らしの方々には何か問題が起きた時、現在、どのように計画を立てて取り組んでいるのか。また介護予防につながる取組みはどのようなものが提供されているのか。高齢者とその家族が今後の方向性を家族で話し合い、決定していけるような社会資源の情報提供などの取組みが必要である。

山下町長 取組みとして、見守りネット事業による見守り安否確認、緊急通報システムの設置など、また介護予防につながる取組みとしては、保健師活動の一環として機能訓練指導や体操指導、介護予防講演会などを実施している。病院と行政機関の保健師、介護施設のケアマネージャーと連携を図るための仕組みを、平成27年から女満別中央病院でも取り入れ、連携体制をつくりつつある。より実践的な連携体制の構築を目指してまいりたい。

問 教育文化会館の催物について、個人の要望を出せるアンケートは

答 広く町民の皆さんから意見をいただくよう仕組みをつくっていききたい

豊島好美議員 教育文化会館での催物について、個人的な要望を出せるアンケートなどは取らないのか。町外の方が足を運んでくれるような催物は、町

大橋 直美

議員

問 B&G海洋センターの駐車場を広くする考えはあるか

答 増設について実施できる方向で検討したい

大橋議員 B&G海洋センターの周辺には武道館などの施設があり、町の行事等で会場を使用するたび駐車場が狭く感じる。広くする対策は考えているか。

山下町長 現地を確認した後、平成28年度中に予算を何とか工夫しながら、増設に取り組みたい、実施できる方向で検討したい。

問 子供の学力低下に対し、土曜授業などの話が出されてはいないか

答 学習状況等を踏まえ、課題を整理した上で導入を検討したい

大橋議員 子どもの学力低下問題について、管内の小清水町で毎週ではないが土曜授業を取り入れている。町ではそのような話し合いが出されていないのか。

渡邊教育長 土曜授業の検討について、教育委員会の判断により実施することが可能となったので、学習状況等を踏まえ、年間の授業実施を増やす必要があると思われるときは、課題を整理した上で導入を考えていきたい。学力向上にあたり、補充学習の取組みや家庭学習の定着、規律ある生活習慣の確立など、さらなる実効性のある学力向上対策を講じてまいりたい。

豊島 佐智子

議員

問 町が歩むべき道しるべ宣言を打ち出すことは大切だと思う

答 普遍的なまちづくり像を定めることは意義のあることだと考えている

豊島佐智子議員 町が歩むべき道しるべとしての宣言というものがある。大空町にはまだ宣言がなく、町民の共通認識として宣言を打ち出すことは大切だと思うが。また、10年の節目に大空町の歌を作るお気持ちはあるか。

山下町長 今年度第2次総合計画が策定され、10年後に目指す町の将来像が定められたところだが、普遍的なまちづくり像を定めることはさらに意義のあることだと考えている。この女性模擬議会や、大空町議会での発議、議決という形が望ましいと思うので、検討願えればと思う。また、大空町の歌について、現在町歌として決めているものはないが、今後はストーリー性を持って制作することが適切か、ご指導いただきながら制定に向けた取り組みを行っていききたい。

豊島佐智子議員 予算の件うことは思うが、何とか実現に向けて努力をお願いしたい。

宮下 久枝

議員

問 冬期保健講座を市街地でも実施してはどうか

答 市街地区での開催を目指したい

宮下議員 冬期間、農村の自治会女性部を対象として冬期保健講座が開かれているが、食と健康のためになるので、市街地でも開かれることを要望したい。

山下町長 今後は、自治会との共催や、市街地区や全町的な組織の事業の一部として開催できないか協議を重ね、市街地区での開催を目指してまいりたい。

問 ヘルスメイトの養成講座を実施してほしい

答 平成29年度に養成講座の開設を考えている

宮下議員 ヘルスメイトは42名いるが、実際に活動してくれる人はまだ少ない。何年かに一度は養成講座を開いていただきたい。

山下町長 食生活改善推進委員の活動やフオローアップ研修などの参加をまず呼びかけ、知識を広げていざと同時に、興味を持ってもらう活動を平成28年度は行いたい。その方々を中心に、平成29年度に養成講座の開設に結び付けてまいりたい。ぜひ皆様方からも養成講座の受講に向けて、お声掛けいただくとお願いしたい。

武内 純子

議員

問 町の具体的な産業振興支援策は

答 起業化支援事業補助金などがあるが、今後さらに充実させていきたい

武内議員 働き口があるかどうかが移住の大きなポイントであり、産業支援こそが本来の移住促進につながるのではないかと。大空町の産業は農業がメインであり、農産品を生かした食品開発は今後ますます期待され成長していくと思う。具体的な町の支援メニューについてお答えいただきたい。

山下町長 具体的な支援策として、起業化支援事業補助金、元気づくり応援事業の中に地場産業振興事業がある。その他、6次産業化を推進するため特産品づくりセミナーを開催したところである。平成28年度からは、雇用者を確保するための賃金助成制度や資格を取得するための助成なども検討している。今後さらに内容について検討し充実させていきたい。課題として、地域のブランドという意味で、単独の市町村に限らず、広域で産品をアピールできるような仕組みが必要ではないかと考えている。

武内議員 元気づくり応援事業の事例などについて、積極的に情報発信していただきたい。また、試験製造施設や加工場は使えるのかどうか。

山下町長 道の駅メルヘンカルチャーセンターにある農産物、また畜産物の加工施設、さらに製造品提供加工施設などのブースがある。

豊島 好美

議員

問 医療、福祉、行政の連携が必要と考えるが

答 女満別中央病院において連携体制をつくりつつあるところである

豊島好美議員 高齢者の独居や二人暮らしの方々には何か問題が起きた時、現在、どのように計画を立てて取り組んでいるのか。また介護予防につながる取組みはどのようなものが提供されているのか。高齢者とその家族が今後の方向性を家族で話し合い、決定していけるような社会資源の情報提供などの取組みが必要である。

山下町長 取組みとして、見守りネット事業による見守り安否確認、緊急通報システムの設置など、また介護予防につながる取組みとしては、保健師活動の一環として機能訓練指導や体操指導、介護予防講演会などを実施している。病院と行政機関の保健師、介護施設のケアマネージャーと連携を図るための仕組みを、平成27年から女満別中央病院でも取り入れ、連携体制をつくりつつある。より実践的な連携体制の構築を目指してまいりたい。

問 教育文化会館の催物について、個人の要望を出せるアンケートは

答 広く町民の皆さんから意見をいただくよう仕組みをつくっていききたい

豊島好美議員 教育文化会館での催物について、個人的な要望を出せるアンケートなどは取らないのか。町外の方が足を運んでくれるような催物は、町

大橋 直美

議員

問 B&G海洋センターの駐車場を広くする考えはあるか

答 増設について実施できる方向で検討したい

大橋議員 B&G海洋センターの周辺には武道館などの施設があり、町の行事等で会場を使用するたび駐車場が狭く感じる。広くする対策は考えているか。

山下町長 現地を確認した後、平成28年度中に予算を何とか工夫しながら、増設に取り組みたい、実施できる方向で検討したい。

問 子供の学力低下に対し、土曜授業などの話が出されてはいないか

答 学習状況等を踏まえ、課題を整理した上で導入を検討したい

大橋議員 子どもの学力低下問題について、管内の小清水町で毎週ではないが土曜授業を取り入れている。町ではそのような話し合いが出されていないのか。

渡邊教育長 土曜授業の検討について、教育委員会の判断により実施することが可能となったので、学習状況等を踏まえ、年間の授業実施を増やす必要があると思われるときは、課題を整理した上で導入を考えていきたい。学力向上にあたり、補充学習の取組みや家庭学習の定着、規律ある生活習慣の確立など、さらなる実効性のある学力向上対策を講じてまいりたい。

森賀聖子 議員

問 ショートステイを緊急に利用したい場合に対応するための対策は

答 保健師等に相談いただき、町外の施設も確認して入所に向け努力したい

森賀議員 特別養護老人ホームにおけるショートステイの利用状況について、現在もショートステイを利用する場合は1カ月前から申し込みないと利用できないのか、また、緊急に利用したい場合に対応するための対策はどう考えているのか。

山下町長 ショートステイのベッド数は、両地区の待機にそれぞれ10床あり、ほぼ空きがないのが現状である。利用するには希望月の前月の初めまでに申し込みないと利用は難しい。緊急にショートステイを希望する場合は、ケアマネージャーや保健師に相談していただくことになるが、町外の施設の空き状態なども確認をして入所に向けて努力をしたいと思う。また、平成30年度に特養の整備を検討しており、入所枠が増えることによりさまざまな対応が図れることが出てくるのではないかと、そういった面も期待しながら整備に向けて努力したい。

森賀議員 高齢化が進み特養入所やショートステイの利用希望が増えていることは理解しているが、緊急で利用したい人のために常に1床は空けておくといった対策が必要かなと思う。

山下町長 1床必ず空けておくことは考えなくはないが、空いているなら入れてほしいという希望があった時、現状としては難しい状況である。また、それぞれの気持ちに添った対応ができる人材を育てたり、仕組みをつくることにも努力してまいりたい。

秋岡房子 議員

問 プレミアム商品券の率を30%に引き上げていただきたい

答 平成28年度に試験的に実施してみたい

秋岡議員 今後地域活性化のため、町の補助金を増額していただき、子育て世帯向けのプレミアム商品券の販売や、販売総数の変更をせず、プレミアムの率を30%に引き上げていただきたい。

山下町長 プレミアム率の従来20%のものを30%にということについては、加盟店での協力や消費者ニーズがどこにあるのかなどを把握し、今一度検証する必要があると思う。事業者や商工会の方々の協力がいただければ、平成28年度に試験的に実施してみたい。

問 休日になると除雪が遅れがちで不便を感じているが

答 休日等で出勤時間を変えてはいるが、順路により遅くなる傾向はある

秋岡議員 夕陽台周辺の除雪について、休日になると除雪が遅れがちになり不便を感じている。そのため防雪柵の設置を考えていただきたい。

山下町長 夕陽台地区は除雪ドレーザによる除雪を行っており、順路により除雪が遅くなる傾向はある。近年休日等で出勤時間を変えることはしていない。市街地における防雪柵の設置については、まずは除雪体制の強化を優先し、設置の考え方は持っていない。

原本光枝 議員

問 在宅医療などが求められる中、行政以外の支援体制をどう進めるのか

答 日赤奉仕団など団体同士の交流の機会をつくり、情報共有の場をつくっていききたい

原本議員 少子高齢化の流れにより、高齢の方だけの世帯や独居の方が増えていくものと思われるが、行政サービスの向上のためにはどのような対策が必要と考えているか。また、在宅医療や在宅介護の求められる中、行政以外の支援体制をどう進めていくのか。

山下町長 町では、医療介護従事者の就労支援やヘルパー養成講座の費用助成、東藻琴診療所医療機器の充実や女満別中央病院への支援などに取り組んでいくこととしている。また、女満別地区には生活援助員常駐の高齢者世話付き町営住宅が整備されているが、東藻琴地区にはありません。今後、町営住宅を見守り付き高齢者共同住宅への活用ができないか、検討を進めてまいりたい。行政以外の支援体制について、町には日赤奉仕団や更生保護女性会など、さまざまな団体の方々がいろいろな活動に取り組んでいただいており、団体同士の交流の機会をつくり、情報共有の場を作っていかなければならないと感じている。

問 農村環境改善センターの調理室及びトイレの設備の見直しを検討してほしい

答 平成28年度中に実施してまいりたい

原本議員 農村環境改善センターは芸術文化の拠点であり、あらゆる世代の交流・学びの場であるとともに、災害時の避難所にもなっていますが、今後さらに重要な施設としての機能を充実させるため、調理室やトイレなどの設備の見直しを検討してほしい。

問 女満別高校の存続についてどのように進んでいるのか

答 いくつかの選択肢が考えられるが、高等学校教育の目指すべき方向を見極めていく

中川議員 女満別高校の存続について、具体的に魅力的な学校にするために何か方策を考え、アンケート等は取ってきたとは思いますが、どのように進められるのか。また実際に行った募集活動についても教えてほしい。

渡邊教育長 学校では、管内外の中学校に訪問し、優れた教育内容や町が行っている高校への支援策などについて詳しく紹介し、積極的にPRに努めている。今後の高校のあり方については、高等学校教育を考える協議会において議論を進めており、目指すべき方向を見極めてまいりたい。

問 女満別中学校の建替え若しくは大規模改修の予定はあるのか

答 できるだけ早期に大規模改修の工事に着手できるように努力する

中川議員 女満別中学校の校舎の老朽化が激しく、大雨のたびに雨漏りがしてタイルが剥がれるそうである。建替えの予定若しくは大規模改修の予定はあるのか。また、部活に継続的に外部の講師を起用するというような予算はつけられないか。

渡邊教育長 大規模改修の必要性を感じており、できるだけ早期に工事に着手できるように努力したい。部活動の外部指導者の起用について、今後現在の部活動が維持できるかを含め、先を見通した議論、検討を進めていきたい。

遠国真理 議員

問 農家の人手不足における対策は

答 JAや農業者の皆さんの意見を聞きながら、労働力の確保対策を講じていく

遠国議員 ブロッコリーと金時豆を作っている畑作農家であるが、悩みは収穫や豆積み手の担い手が家族だけでは足りないことである。就労センターも9月は芋の収穫と重なり人手不足で、人を探すのも一苦労である。

山下町長 労働力不足は農業の大きな課題の一つだと考えている。解決に向けた方策として、農作業を受託する組織、コントラクター事業が考えられ、現在町、JA、建設事業者の方々を含め、体制づくりの検討を進めることで了解いただいている。また、学生アルバイトを確保するため、地域と学生の結びつきを深めることも大切であり、公共施設使用料の減免などを検討しており、合わせて東京農業大学と平

中川利佳子 議員

問 今後の英語教育をどう展開していく考えか

答 「まちなか留学」の充実、イングリッシュキャンプへの参加などに努めていく

中川議員 今後の英語教育をどう展開していく考えか。「まちなか留学」などの行事、学生を海外に派遣若しくは招待するという制度、町として検討しているのか。また、オリンピックの合宿招致を町が立候補することは難しいか。国際感覚を身につけ外国語を経験するにはふさわしい場所だと思いが。

渡邊教育長 「まちなか留学」は平成28年度改めて内容を充実させ取り組みたい。子どもの海外派遣や留学事業は、今後海外都市との交流のきっかけづくりを含め、実現の可能性を研究してまいりたい。また、オリンピック選手の合宿誘致については、応募要件が大変厳しく、町としては条件のクリアは非常に難しいと判断している。今後北海道が実施しているイングリッシュキャンプへの参加拡大などにも外国語を身につける重要な機会なので、参加に向けて努力したい。

女性模擬議会 フォトギャラリー



大空町議会だより 臨時号 平成28年(2016年)3月15日発行

発行／大空町議会 ■編集／議会広報常任委員会 ■印刷／株式会社須田製版
 〒099-2502 北海道網走郡大空町女満別西3条4丁目1番1号 TEL(0152)742111 FAX(0152)742191

町長 須田 誠一



本日はこのような機会を行政側にも与えていただきましたことに感謝申し上げます。通常の議会とはまた別の緊張感の中で臨ませていただきました。議員の皆さんはさまざまな視点に立ち、一般質問等を行ってくださいました。行政が行っている事業とか制度など、ご存じなかったものも多くあったのではないかと思います。私も行政に携わる者は、施設の整備を行ったり、事業を執行したり、さらには制度をつくったりしています。改めて町民の皆さんにPRしていく難しさというものを実感したところがございます。情報が正しく共有されていけば、理解も深まり、課題のいくつかは解決できるものがあつたのではないかと感じました。今回答弁を申し上げましたが、中にはどうしてもできないものもございますが、希望や要望が叶えられる社会と顔の見える中で、そういったものを実現できていける社会というのにも必要ではないかと考えているところです。また、福祉や教育、産業などの答弁では、歯切れの悪さを感じたことと思います。それは役場が、職員だけが携わって頑張ればできるという問題ではないからだとこのことをご承知おきいただきたいと思います。町民皆さんの理解やご協力、そして実行がなければ実現できません。まさにまちづくりへの参画がないと成果を生み出さないものばかりです。ぜひこの機会にまちづくりにさらに関心をもっていただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

の緊張感の中で臨ませていただきました。議員の皆さんはさまざまな視点に立ち、一般質問等を行ってくださいました。行政が行っている事業とか制度など、ご存じなかったものも多くあったのではないかと思います。私も行政に携わる者は、施設の整備を行ったり、事業を執行したり、さらには制度をつくったりしています。改めて町民の皆さんにPRしていく難しさというものを実感したところがございます。情報が正しく共有されていけば、理解も深まり、課題のいくつかは解決できるものがあつたのではないかと感じました。今回答弁を申し上げましたが、中にはどうしてもできないものもございますが、希望や要望が叶えられる社会と顔の見える中で、そういったものを実現できていける社会というのにも必要ではないかと考えているところです。また、福祉や教育、産業などの答弁では、歯切れの悪さを感じたことと思います。それは役場が、職員だけが携わって頑張ればできるという問題ではないからだとこのことをご承知おきいただきたいと思います。町民皆さんの理解やご協力、そして実行がなければ実現できません。まさにまちづくりへの参画がないと成果を生み出さないものばかりです。ぜひこの機会にまちづくりにさらに関心をもっていただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



UD FONT



本紙は、見やすさや読みやすさを配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。また環境にやさしい植物油インキを使用しています。